

› 2021年3月期
第2四半期 決算説明資料〔IFRS〕

証券コード： 5938

(2020年4月 – 2020年9月)

株式会社 LIXILグループ
2020年10月30日



Copyright © LIXIL Group Corporation. All rights reserved.

2016年3月期よりIFRSに移行しています
各段階利益の名称の違いは以下の通りです

日本基準	IFRS（当社財務報告）
	継続事業
売上高	売上収益
売上原価	売上原価
売上総利益	売上総利益
販管費	販管費
営業利益	事業利益（CE）
営業外収益・費用	その他収益・費用
経常利益	営業利益
特別損益	金融収益・費用
	持分法投資損益
税引前利益	税引前利益
	継続事業からの当期利益
	非継続事業
	非継続事業からの当期利益
当期利益	当期利益
非支配持分に帰属する当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益
親会社の株主に帰属する当期利益	非支配持分に帰属する当期利益

IFRS基準の「**事業利益（CE）**」は日本基準の「**営業利益**」に相当

「連結子会社の異動（株式譲渡）に関するお知らせ」（2020/5/1および6/9）に開示のとおり、株式譲渡の対象となったベルマステリーザ社及びその子会社、LIXILビバに関連して発生する損益の全てを「非継続事業」に分類しています。比較のため前期も同様に組替を行っています。

2021年3月期第2四半期 決算ハイライト

全ての事業で第1四半期から回復。上期累計では、前年の消費税増税後の需要減と新型コロナウイルス感染症拡大影響で減収減益

- **売上収益 6,605億円、前年同期比13%減**
対前年上期：国内14%、海外9%減（為替影響を除く海外8%減）
対1Q（3ヵ月）：国内5%、海外36%増
- **事業利益 154億円、前年同期比186億円減**
欧米を中心とした海外需要の回復と販管費の抑制により、1Qの26億円の赤字から黒字に転換
- **上期最終利益⁽¹⁾ 109億円、前年同期比123億円減**
主として、事業利益の減少により減益
- **2021年3月期 通期業績予想の公表**
上期業績および足元の状況に鑑みて、事業利益予想を250億円から400億円に上方修正
年間70円の配当予想に変更なし。中間配当35円を決議

子会社の売却

- **ペルマステイリーザ：9月30日株式譲渡手続き完了⁽²⁾**
- **LIXILビバ：株式譲渡決定、11月上旬譲渡完了予定**

(1) 上期最終利益=親会社の所有者に帰属する四半期利益
(2) 2020年9月30日公表「(開示事項の経過) 連結子会社の異動(株式譲渡)に関するお知らせ」

LIXIL

3

新型コロナウイルス感染症拡大の影響について

生産・調達・販売の状況（2020/10/23時点⁽¹⁾）

生産

国内外全拠点において稼働

調達

国内外全拠点において、大きな問題なし

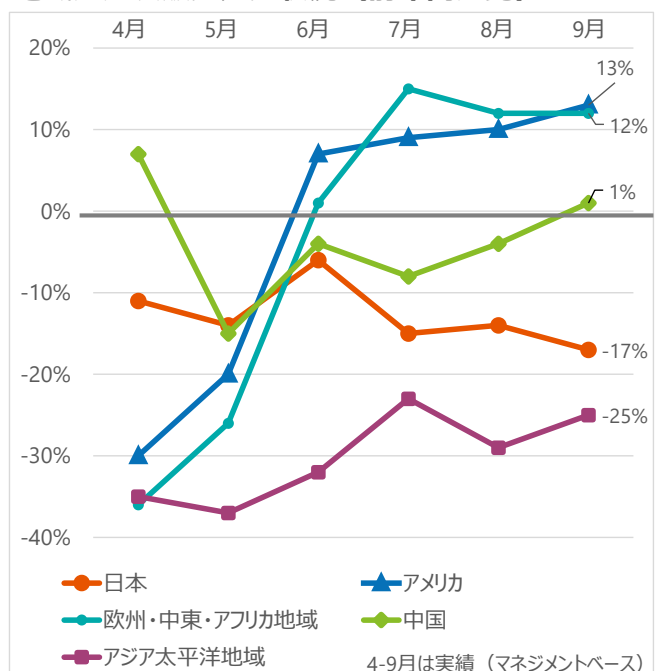
販売

海外では、6月以降欧米を中心に回復。
地域別の状況は後掲「セグメント別決算の概要」
に詳述

日本では、前年実績比では、9月を底に10月以降回復の兆し

10月後半における欧米での感染拡大の状況については懸念を持っており、引き続き状況を注視していく

地域別月次販売足元状況（前年同月比）



(1) 2020年5月1日公表「2020年3月期通期連結決算発表日程の変更および新型コロナウイルスに対する取り組みに関するお知らせ」、
2020年8月6日公表「2021年3月期第1四半期決算説明資料〔IFRS〕」からの更新

LIXIL

4

2021年3月期 第2四半期連結業績結果

	億円	20/3期	21/3期	前年同期比	
		上期実績 遡及修正後 ⁽⁴⁾	上期実績 実績	増減	%
継続事業	売上収益	7,595	6,605	-990	-13.0%
	売上総利益	2,549	2,177	-373	-14.6%
	(%)	33.6%	33.0%	-0.6pt	-
	販管費	2,209	2,023	-186	-8.4%
	事業利益 ⁽¹⁾	340	154	-186	-54.8%
(%)	4.5%	2.3%	-2.2pt	-	
非継続事業を含む	非継続事業を含む 上期最終利益 ⁽²⁾	231	109	-123	-
	EPS (円)	79.75	37.47	-42.28	-
継続事業	EBITDA ⁽³⁾	750	559	-191	-
	(%)	9.9%	8.5%	-1.4pt	-

- 事業利益率は、第1四半期より3.2pt改善するも、対前年同期では2.2pt悪化
(売上総利益率は0.6pt悪化、売上収益減少により販管費率は1.5pt悪化)
- 売上総利益率・事業利益率の悪化は、需要減による製造部門の操業度の低下が主因
- 販管費は、上期6か月で前年同期比186億円の抑制 (1Q: 91億円、2Q: 95億円)

LIXIL

(1) 日本基準の「営業利益」に相当
(2) 親会社の所有者に帰属する四半期利益
(3) EBITDA=事業利益+減価償却費

(4) ヘルマステリーザ社とLIXILビバ社の株式売却を決定したことに伴い、ヘルマステリーザ社及びその子会社、並びにLIXILビバの事業を「非継続事業」に分類。比較のため前年同期も同様に組替

5

2021年3月期 第2四半期 (3か月・累計) セグメント別業績概況

▶ アメリカ・欧州地域における需要の回復がLWTの減収減益幅の縮小に大きく寄与

(億円)

		上期 6か月			第2四半期 3か月	
		20/3期 上期 遡及修正後 実績 ⁽¹⁾	21/3期 上期 実績	増減	21/3期 2Q 実績	増減
LWT	売上収益	4,108	3,656	-452	2,002	-143
	事業利益	333	199	-135	169	-30
LHT	売上収益	2,791	2,356	-435	1,182	-251
	事業利益	182	136	-46	84	-24
LBT	売上収益	544	463	-81	250	-56
	事業利益	7	4	-3	13	-8
住宅・サービス事業等 (H&S)	売上収益	268	229	-39	116	-21
	事業利益	18	10	-8	6	-3
全社/連結調整	売上収益	-116	-99	17	-50	12
	事業利益	-200	-195	5	-91	10
合計	売上収益	7,595	6,605	-990	3,500	-458
	事業利益	340	154	-186	180	-55

LWT (地域別) 3か月前年比⁽²⁾: **アメリカ** 1Q: -15%, 2Q: +10%、**EMEA** 1Q: -20%, 2Q: +13%、**中国** 1Q: -7%, 2Q: -4%、**アジア太平洋** 1Q: -31%, 2Q: -14%、**日本** 1Q: -11%, 2Q: -15%

LIXIL

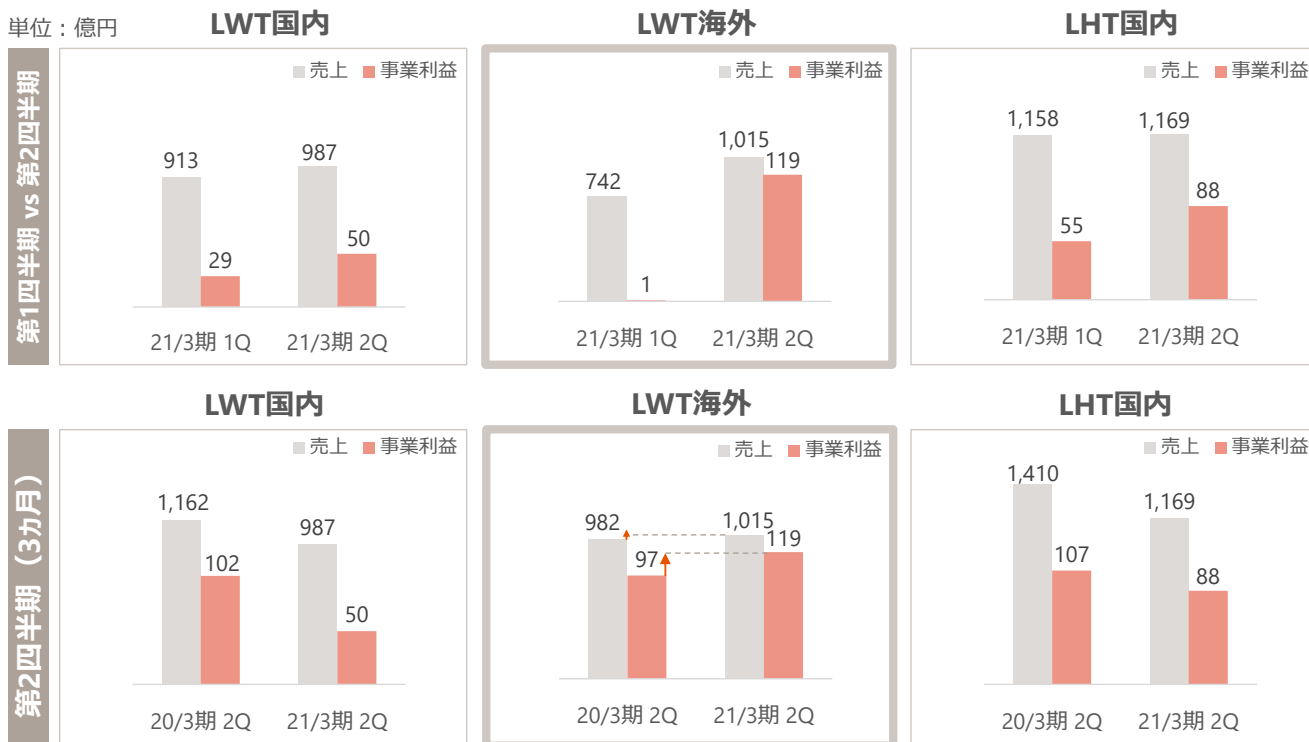
(1) ヘルマステリーザ社とLIXILビバ社の株式売却を決定したことに伴い、ヘルマステリーザ社及びその子会社、並びにLIXILビバの事業を「非継続事業」に分類。比較のため前年同期も同様に組替
(2) 現地通貨ベース

6

2021年3月期 第2四半期（3カ月） コア事業：業績概況

▶ 全コア事業で第1四半期から大幅に回復。LWT海外は第2四半期（3カ月）では増収増益

単位：億円



▶ 2021年3月期 通期業績見通し

2021年3月期 主要業績指標（全社）

▶ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により減収減益⁽¹⁾を計画するも、持続的な成長に向けた組織改革を着実に実行

(億円)	通期			
	[A] 20/3期 通期	[B] 21/3期 通期 業績予想	[C]=[B]-[A] 対20/3期 通期	[C]/[A] 対20/3期 通期 (%)
売上収益	15,144	13,500	-1,644	-11%
事業利益	523	400	-123	-24%
営業利益	320	70 (a)	-250	-78%
税引前利益	409	30	-379	-93%
税金費用	-132	-10	122	-92%
非継続事業からの損益	-141	210 (b)	351	-
非支配持分に帰属する当期利益	12	40	28	-
親会社の所有者に帰属する 当期利益	125	190	65	52%

(a) 事業利益と営業利益の間の「その他収益・費用」に、構造改革費用(見込額) 250億円を含む

(b) 公表済みクローリング前の子会社株式の譲渡について現時点で見込まれる譲渡損益の額を含む

LIXIL (1) 売上収益・事業利益。最終利益は増益を予想

9

2021年3月期 業績予想前提条件・主要業績指標（全社）

▶ 前提条件

		20/3期 (実績)	21/3期 (見通し)
住宅着工 (千戸/YoY)	総数	884	766/-13%
	リフォーム	-	-7%
通期為替レート (平均レート)	円/米\$	109.10	115.0
	円/ユーロ	121.14	126.5
原材料価格 (千円/トン)	アルミ	215	209
	銅	586	648

▶ 主要業績指標、等

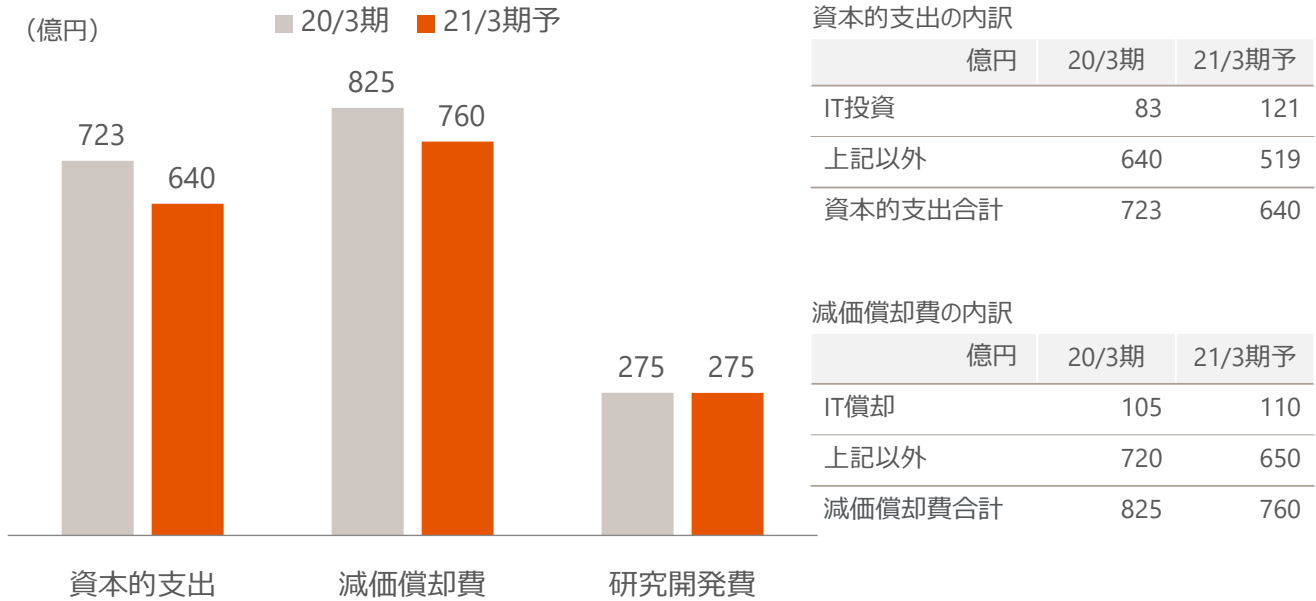
(億円)	20/3期 (実績)	21/3期 (見通し)	差
ROE (%)	2.4	3.8	+1.4
ROA (%)	0.6	1.0	+0.4
EBITDA ⁽¹⁾	1,348	1,160	-188
資本的支出 ⁽²⁾	723	640	-83
減価償却費 ⁽²⁾	825	760	-65
研究開発費	275	275	0

LIXIL (1) EBITDA=事業利益+減価償却費
(2) 資本的支出・減価償却費には無形資産・IFRS16リースを含む

10

資本的支出・減価償却費・研究開発費 (1)

投資効率と安全性指標を重要目標達成指標とすることにより、財務体質の改善と収益性の向上を両立



持続的な成長に向けた取り組み (1)

持続的な成長に向けた変革の推進を加速

- 急速に大きく変化する事業環境において、外部環境の変化に影響を受けにくい事業構造への転換が必要
- 事業構造を簡素化、実力主義を徹底し、従業員中心の文化を備えたアジャイル（機動的）な組織を構築
- LIXILの変革のために、国内事業が変革を主導

国内事業を活性化するための包括的人事プログラム

「変わらないと、LIXIL」⁽¹⁾

顧客志向に変える

顧客志向の組織への転換

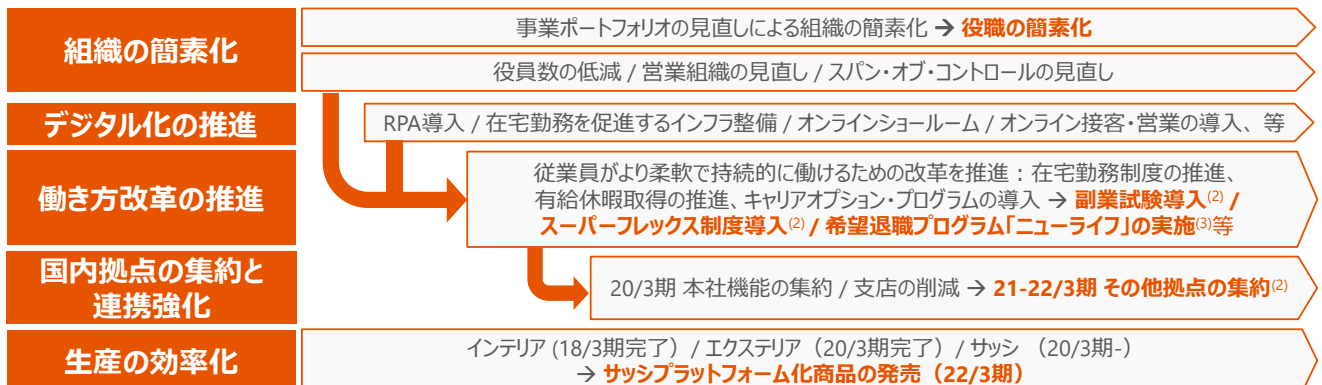
キャリアを変える

次世代の人材を育てることによる経営の活性化

働き方を変える

柔軟かつ効率的な働き方を可能にすることによる、生産性の向上

生産性の向上に向けた取り組み



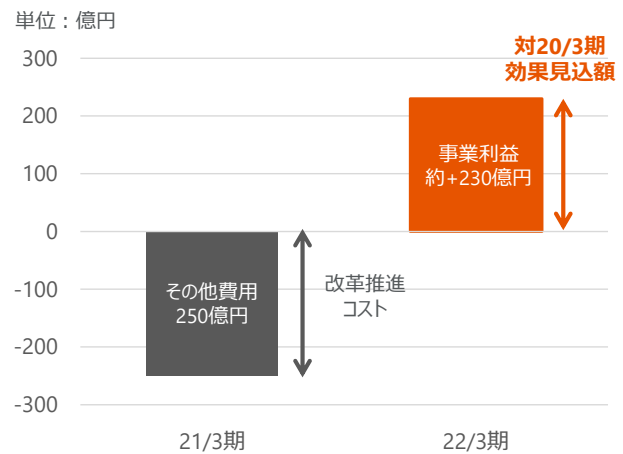
持続的な成長に向けた取り組み（2）

主な施策（21/3期）

- **組織の簡素化**
役職の簡素化
- **デジタル化による取り組みの加速**
- **働き方改革の推進加速**
副業試験導入、スーパーフレックス制度導入、生産性向上による残業時間の削減、拠点の集約（21-22/3期）、希望退職プログラム「ニューライフ」の実施
- **国内拠点の集約と連携強化**
- **ハウジング事業の生産の効率化（生産改革）**
サプライプラットフォーム化商品の発売（22/3期）

改革推進コストと効果見込額

事業利益に対する効果見込額



組織改革・働き方改革を含めた生産性改善は22/3期以降も継続

セグメント別決算の概要



Water Technology



Housing Technology



Building Technology



住宅・サービス

Water Technology / ウォーターテクノロジー事業

▶ 海外事業はコロナ影響により減収となるも、7月以降アメリカと欧州地域で強い伸びを維持。
日本事業は新設住宅着工減とコロナ影響、昨年の消費増税後の反動減により減収減益

4月-9月 億円		21/3期 上期	YoY 現地通貨 ベース	21/3期 通期予想		
地域別売上 (1)	アメリカ	687	-2%	3%		
	欧州、中東、 アフリカ地域	765	-3%	1%		
	中国	256	-5%	5%		
	アジア太平洋地域	196	-22%	-4%		
	日本	1,900	-13%	-10%		
	連結調整	-148				
	Water Technology	3,656	-11%	事業利益率% 7,700	-7%	
事業利益	海外	120	-26%	6.8%	-36%	4.7%
	日本	79	-54%	4.1%	-5%	8.1%
	Water Technology	199	-40%	493	-20%	
事業利益率		5.4%	-2.7pt	6.4%	-1.0pt	

売上収益

■ アメリカ

✓ 6月以降小売り・eコマースの好調継続、足元では他の販売チャネルも回復

■ 欧州、中東、アフリカ地域

✓ 6月以降回復基調が継続、小売り・eコマースチャネルの好調に続き他の販売チャネルも回復

■ 中国

✓ プロジェクト好調、9月以降マイナス幅縮小

■ アジア太平洋地域

✓ 市場は新型コロナウイルス感染症の影響(ロックダウン、景気低迷等)から緩やかに回復

■ 日本

✓ 1-6月の新設着工減に加え、コロナ影響、昨年の消費増税後の反動減により減収
✓ “ニューノーマル”への対応において、水栓金具の需要伸長

- タッチレス水栓 前年比50%増

(注) 前年同期比 (20/3期、21/3期4-9月の6ヵ月実績比)

事業利益

■ 日本・海外

✓ 日本・海外共に売上減の影響を販管費抑制でカバーし減益幅縮小

✓ 海外では、2Q3ヵ月で回復顕著

LIXIL

(1) 地域別はマネジメントベース、合計は制度会計ベース
制度連結会計 為替レート：21/3期 2Q実績 1 USD=106.68円、1 EUR=121.36円
マネジメントベース為替レート：1 USD=115.0円、1 EUR=126.5円で比較

15

Housing Technology / ハウジングテクノロジー事業

▶ 国内需要環境の悪化により減収減益も、生産効率改善・販管費抑制により、利益率は第2四半期も大幅な変動を抑えて横ばいで推移

4月-9月 億円		21/3期 上期	YoY	21/3期 通期予想	
地域別売上	日本	2,326	-15% ⁽¹⁾	-13%	
	海外	30	-40% ⁽²⁾	-16%	
	Housing Technology	2,356	-16%	4,730	-13%
事業利益	Housing Technology	136	-25%	277	-2%
	事業利益率	5.8%	-0.8pt	5.9%	+0.6pt

■ 日本

✓ 1-6月の新設着工減に加え、コロナ影響により減収となるも、販管費抑制やプラットフォーム化の進捗等による生産効率改善により事業利益率は、前年同期比0.8pt減に抑制

✓ 外部環境厳しくも、中期施策は着実に実行中。2021年春にプラットフォームサッシ第1弾発売に向けた準備を推進

✓ “ニューノーマル”への対応、および、近年の日本国内における台風の大型化・被害の深刻化を背景として、下記商品群における需要伸長

- 玄関用収納網戸：前年同期比50%増
- 宅配ボックス：前年同期比50%増
- リフォーム用シャッター：前年同期比70%増

(注) 前年同期比 (20/3期、21/3期4-9月の6ヵ月実績比)

LIXIL

(1) 売却等影響除く -13%
(2) 売却等影響除く -25%

16

Building Technology / ビルディングテクノロジー事業、住宅・サービス事業等 (H&S)

▶ オリンピック需要の収束による需要減により減収。減益幅改善

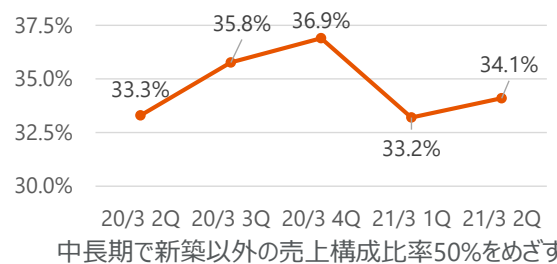
4月-9月 億円	21/3期 上期	YoY	21/3期 通期予想		
ビルディング	売上収益	463	-15%	980	-13%
	事業利益	4	-42%	30	+14%
	事業利益率	0.9%	-0.4pt	3.1%	+0.7pt

■ オリンピック需要の収束による需要減により減収、
売価改善による受注粗利の改善、
販管費の抑制により減益幅改善

▶ 前年の消費増税前の旺盛な新築需要剥落を主因として減収減益

4月-9月 億円	21/3期 上期	YoY	21/3期 通期予想		
H & S	売上収益	229	-14%(2)	480	-11%
	事業利益	10	-44%	22	-25%
	事業利益率	4.3%	-2.3pt	4.6%	-0.9pt

■ 新築以外(1)売上構成比 (前年同期比 +0.8pt)



LIXIL (1) 既存・非新築領域、新事業領域
(2) シニアライフカンパニー等売却影響除く -10%

連結財政状態

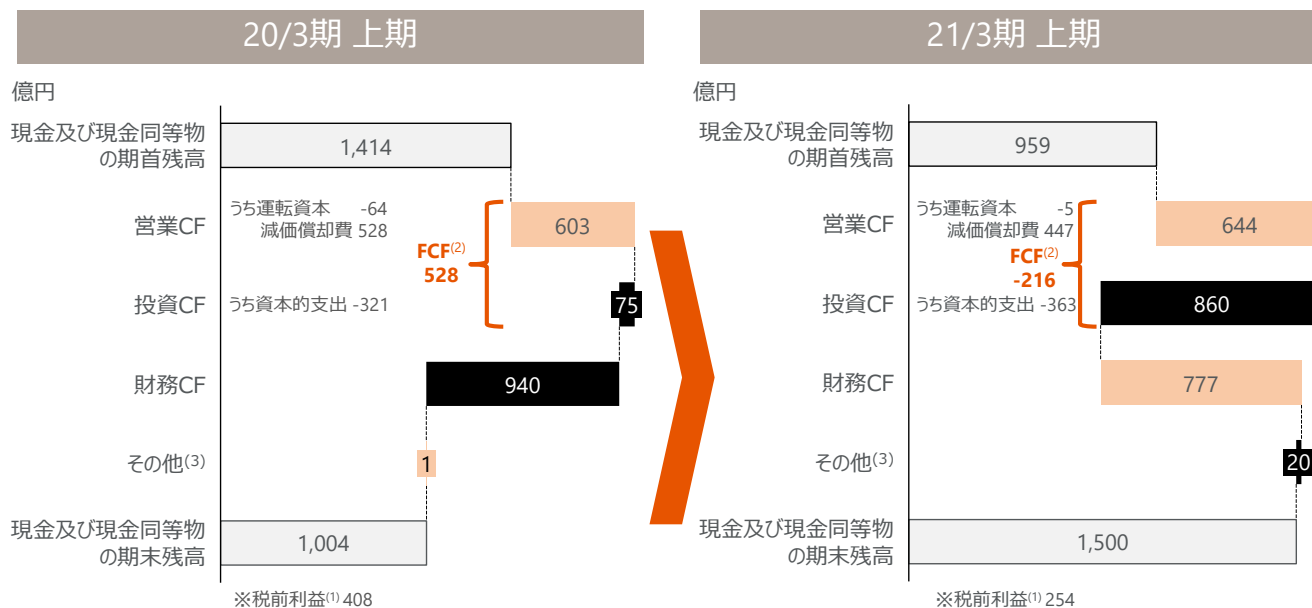
億円	[A]	[B]	増減			[B]-[A] 増減合計
	20/3月末	20/9月末	LIXILビバ 売却決定 による振替	Permasteelisa 株式譲渡完了 による影響	その他	
現金及び現金同等物	959	1,500	③ -100	-	① 641	541
営業債権及びその他の債権	3,071	2,797	-45	-	② -229	-273
棚卸資産	2,276	1,826	-428	-	-23	-450
売却目的で保有する資産	582	3,777	3,330	-535	④ 400	3,194
その他	14,028	11,437	-2,757	-	166	-2,591
資産合計	20,915	21,336	0	-535	955	420
営業債務及びその他の債務	3,365	2,583	-426	-	② -356	-782
有利子負債	8,326	7,393	③ -2,082	-	① 1,149	-933
売却目的で保有する資産に直接 関連する負債	919	3,059	2,688	-899	④ 350	2,140
その他	2,954	2,860	-181	-	87	-94
負債合計	15,564	15,895	0	-899	1,230	332
自己株式	-489	-489	-	-	0	0
その他	5,840	5,929	-	-	89	89
純資産合計	5,351	5,440	-	-	89	89
(1) 自己資本比率(%)	24.0%	③ 23.8%				-0.2pt
(2) 一株当たり純資産(円)	1,730.99	1,753.13				22.14
期末株式数(千株)	290,103	290,101				-2
Net有利子負債	7,367	5,893			③ -1,474	-1,474

① 手元資金確保のため短期借入金及びCPの増加影響。 ② 売上減少に伴う債権・債務の減少
③ 自己資本比率は、20/3月末比 0.2pt悪化。但し、11月予定のLIXILビバ株式売却・非連結化により約5ptの改善を見込む(3)
Net有利子負債は、LIXILビバ売却決定を主因として、対20/3月末 1,474億円減少 ④ 主にLIXILビバの資産・負債の増減

LIXIL (1) 親会社所有者帰属持分比率
(2) 1株当たり親会社所有者帰属持分

(3) 2020年9月度実績を基に試算。分母：総資産-売却目的で保有する資産+売却収入予定額
分子：親会社帰属純資産+非継続事業からの利益計上見込額

キャッシュフローの状況及び現金残高⁽¹⁾



営業キャッシュフロー：主として契約資産・負債を含めた運転資本の改善により、41億円の増加

投資キャッシュフロー：子会社の売却に関連した貸付等の支出と前年の子会社・関連会社に対する持分の売却影響剥落等により786億円の減少

フリーキャッシュフロー：前年比744億円の減少

財務キャッシュフロー：手元資金確保のため短期借入金及びCPの増減 435億円や長期借入金の調達 400億円、社債の発行500億円などにより1,717億円増加

LIXIL

(1) 非継続事業を含む

(2) 「FCF」=フリーキャッシュフロー

(3) 「その他」= 為替換算影響額 + 売却目的保有資産に含まれる現金及び現金同等物

19

➤ (ご参考) 事業関連・ESG関連トピック

事業関連トピックス

リノベーション向け 「INPLUS for Renovation」を新発売⁽¹⁾

インテリアに馴染むデザインで理想の空間を実現



(写真:「INPLUS for Renovation」)

- リモート化が進み、暮らし方や働き方が劇的に変化する中、「INPLUS for Renovation」はこれまでにない表情と質感を再現したデザインで、インテリアに馴染む理想の空間を演出
- 快適な居住空間への高まるニーズに応え、デザインのみならず遮音性や断熱性といった性能も提供
- 1 窓あたり約 1 時間*から施工でき、拡大するリフォーム市場の需要に対応
※ 施工現場の状況により施工時間が異なる場合がございます。

トイレ・洗面の新たなグローバル研究開発棟 「ところボ」を11月開設⁽²⁾

R&D拠点を集約し、イノベーションを促進



(写真:「ところボ」(愛知県常滑市))

- 愛知県常滑市に点在していた計 4 カ所のトイレ・洗面開発拠点を集約し、新たにグローバル研究開発拠点「ところボ」を本年 11 月に開設
- R&D拠点を集約により、迅速なイノベーション創出につなげ、開発効率の向上や開発期間の短縮、技術・製品開発力を強化



(1) ニュースリリース https://newsrelease.lixil.co.jp/news/pdf/20200925_INPLUS.pdf
(2) ニュースリリース <https://newsrelease.lixil.co.jp/news/pdf/20200929-2.pdf>

21

事業関連トピックス・ESG関連トピックス

LIXILショールーム おうちで“ナイトオンライン接客”

リモートのメリットを生かして お客様の潜在ニーズに応えるサービス



- コロナ禍においてショールームサービスの一部を、オンライン接客に移行、ショールームの場所が遠いといった立地による課題も解決
- さらに8月から『ナイトオンライン接客』を開始。日中にショールームをご利用できないお客様から好評をいただき、現在、オンライン接客の約20%が17時～20時のナイトオンライン接客
- サービスのリモート化により、お客様の潜在ニーズに応えるだけでなく、対応するショールームコーディネーターも在宅勤務が可能となり、より柔軟な働き方を実現

「コーポレート・レスポンシビリティ (CR) 報告 2020」10月29日公表

2020年3月期の取り組みをまとめたCR報告書を公表⁽¹⁾



- **新型コロナウイルス感染症、ニューノーマルへの対応**
働き方改革やデジタル化、製品開発などの取り組み強化
- **グローバルな衛生課題の解決**
低価格の手洗いソリューション「**SATO Tap**」の供給開始
- **水の保全と環境保護**
資源循環型経済の実現に貢献する「**LIXILプラスチック行動宣言**」策定
CO₂ゼロと循環型の暮らしに向けた「**環境ビジョン2050**」策定
- **多様性の尊重**
差別や不平等のない社会へ向けた取り組みを示す「**ダイバーシティ&インクルージョンステートメント**」を発表



(1) CR報告書2020: https://www.lixil.com/jp/sustainability/cr_library/pdf/LIXIL_CR2020_ja.pdf
データブック: https://www.lixil.com/jp/sustainability/cr_library/pdf/LIXIL_CR2020_databook_ja.pdf

22

ESG関連トピックス

グローバルな連携を通じて、トイレ及び手洗い衛生の普及に活動を拡大⁽¹⁾



「世界手洗いの日」⁽²⁾に合わせ、米国国際開発庁（USAID）と連携協力覚書を締結し、Reckitt Benckiser（RB）社と新たなパートナーシップを結び、ユニセフとの活動の拡大を発表



- **USAIDとの連携協力覚書**
途上国における衛生設備の拡充に向けたサプライチェーンや市場の構築を目的に新たな連携協力関係を締結
- **RB社の抗菌石鹸Dettol（デトール）と効果的な手洗いを推進**
インド、ケニア、タンザニアなどの国々でRBのグローバルな抗菌ブランド「Dettol」石鹸をLIXILの「SATO Tap」に付属して展開予定
- **ユニセフとのパートナーシップ活動を手洗い分野に拡充**
「Make a Splash!」を通じて衛生環境の整備が遅れている地域での実証実験を決定

プラスチック行動宣言を策定⁽³⁾



使い捨てプラスチックの削減や代替素材のイノベーションで資源循環型社会の実現に貢献



(写真：(左) 紙パッケージ、(右) 微生物由来のバイオマスプラスチック試作品⁽⁴⁾)

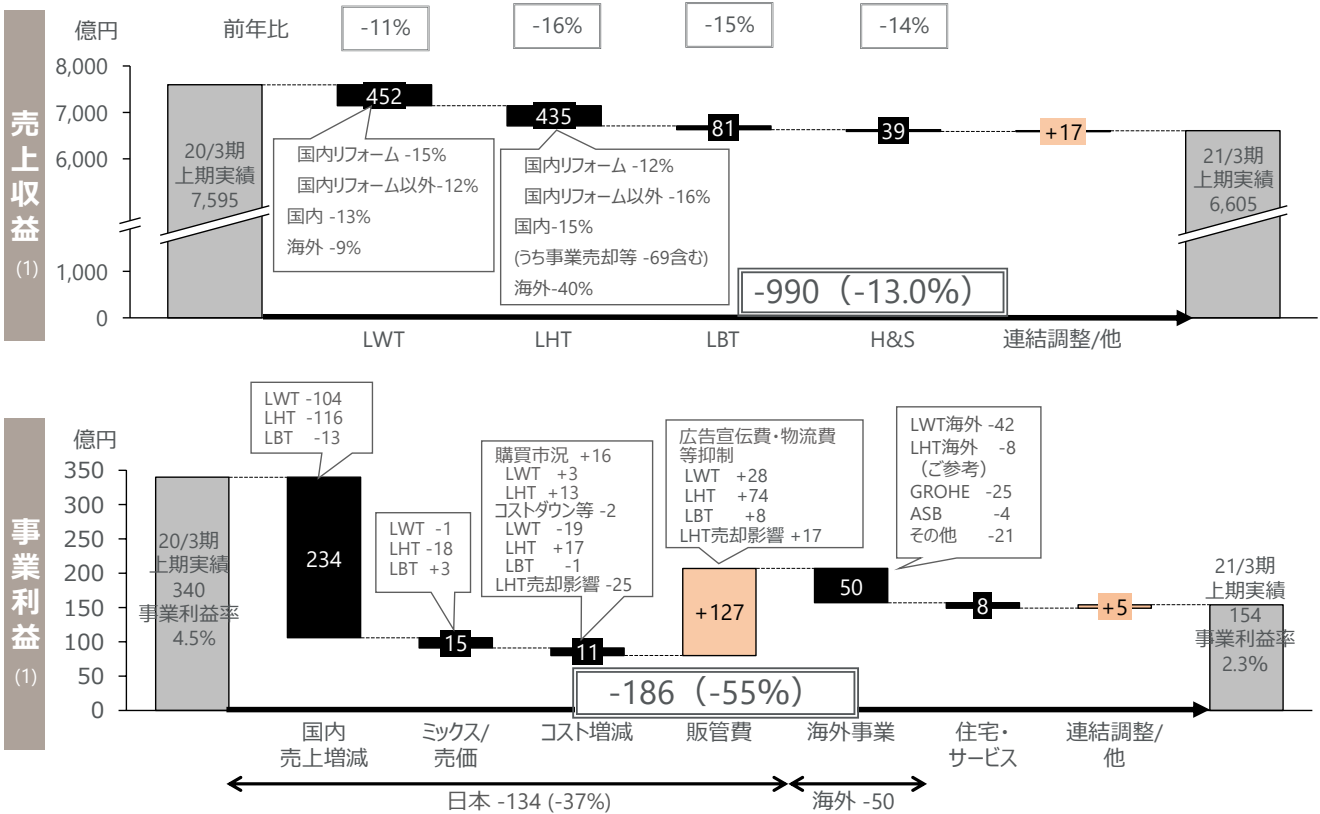
- **プラスチックパッケージの削減**
GROHE：2021年までに全ての製品パッケージの脱プラスチックを目指す
INAX：グローバル展開の拡大を前に、ハンドシャワーのパッケージに紙を採用
- **代替素材のイノベーションを加速**
業界に先駆けた微生物由来のバイオプラスチックの基礎開発に成功し製品への適用に向けた研究を加速
- **資源循環型のサプライチェーンの構築**
調達から製造、製品の使用・廃棄まですべてのプロセスにおいて資源の保全に努め、資源循環型社会の構築に貢献

(1) ニュースリリース https://www.lixil.com/jp/news/pdf/GHD_pressrelease1014_J.pdf
(2) 2020年10月15日

(3) ニュースリリース https://www.lixil.com/jp/news/pdf/plastic_pressrelease_J_final.pdf
(4) ニュースリリース <https://newsrelease.lixil.co.jp/news/pdf/2019120501.pdf>

➢ (ご参考) データ集

第2四半期 売上収益・事業利益の増減（前年同期差）



(1) ベルマステリーザ社とLIXILビバ社の株式売却を決定したことに伴い、ベルマステリーザ社及びその子会社、並びにLIXILビバの事業を「非継続事業」に分類。比較のため前期も同様に組替

第2四半期 その他収益・費用、金融収益・費用、関係会社持分の処分益 内訳

億円	20/3期 上期実績 遡及修正後 ⁽¹⁾	21/3期 上期実績	増減
子会社売却益	15	-	-15
投資不動産売却益	6	0	-6
その他	21	25	4
その他の収益	42	25	-17
有形固定資産除売却損	6	6	1
減損損失	18	28	10
その他	23	25	1
その他の費用	47	59	12
受取利息	4	5	0
受取配当金	9	8	0
デリバティブ評価益	31	-	-31 (A)
為替差益	0	53	53 (B)
金融収益	44	66	21
支払利息	22	21	-1
デリバティブ評価損	0	57	57 (B)
為替差損	31	-	-31 (A)
金融費用	53	78	25
関係会社に対する持分の処分益	110	-	-110

	20/3期 上期実績
デリバティブ評価益	31
為替差損	-31
Net	0

	21/3期 上期実績
為替差益	53
デリバティブ評価損	-57
Net	-4 損

(A) 「デリバティブ評価益」は「為替差損」と両建てで表示されています。
 (B) 「為替差益」は「デリバティブ評価損」と両建てで表示されています。

(1) ベルマステリーザ社とLIXILビバ社の株式売却を決定したことに伴い、ベルマステリーザ社及びその子会社、並びにLIXILビバの事業を「非継続事業」に分類。比較のため前期も同様に組替

セグメント別 実績及び通期業績予想

単位：億円		20/3期 上期 ⁽¹⁾			21/3期 上期				21/3期 通期予想			
		国内	海外	計	国内	海外	計	前年 同期比%	国内	海外	計	前期比 %
LWT	売上収益	2,187	1,921	4,108	1,900	1,756	3,656	-11.0%	3,940	3,760	7,700	-7.1%
	事業利益	172	162	333	79	120	199	-40.4%	187	306	493	-19.9%
	%	7.8%	8.4%	8.1%	4.1%	6.8%	5.4%	-2.7pt	4.7%	8.1%	6.4%	-1.0pt
LHT	売上収益	2,742	49	2,791	2,326	30	2,356	-15.6%	4,660	70	4,730	-12.8%
	事業利益	181	1	182	143	-7	136	-25.4%	287	-10	277	-2.0%
	%	6.6%	1.6%	6.5%	6.2%	-24.3%	5.8%	-0.8pt	6.2%	-	5.9%	+0.6pt
LBT	売上収益	544		544	463		463	-14.9%	980		980	-13.1%
	事業利益	7		7	4		4	-42.2%	30		30	14.0%
	%	1.4%		1.4%	0.9%		0.9%	-0.4pt	3.1%		3.1%	+0.7pt
H&S	売上収益	268		268	229		229	-14.5%	480		480	-11.1%
	事業利益	18		18	10		10	-44.4%	22		22	-25.3%
	%	6.6%		6.6%	4.3%		4.3%	-2.3pt	4.6%		4.6%	-0.9pt
連結調整・他 ⁽²⁾	売上収益			-116			-99	-			-390	-
	事業利益			-200			-195	-			-422	-
LIXIL グループ ⁽²⁾	売上収益	5,741	1,970	7,595	4,918	1,786	6,605	-13.0%	10,060	3,830	13,500	-10.9%
	事業利益	378	163	340	236	113	154	-54.8%	527	296	400	-23.5%
	%	6.6%	8.2%	4.5%	4.8%	6.3%	2.3%	-2.2pt	5.2%	7.7%	3.0%	-0.5pt

- (1) ペルマスティリーザ社とLIXILビバ社の株式売却を決定したことに伴い、ペルマスティリーザ社及びその子会社、並びにLIXILビバの事業を「非継続事業」に分類。比較のため前期も同様に組替えています
- (2) 国内・海外の売上収益/事業利益の合計と「計」の金額の差は、連結調整・他の金額です

LIXIL

27

日本 - 国内リフォーム戦略の進捗：リフォーム向け売上の拡大への注力

▶ 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、4-5月にショールームにおけるソーシャルディスタンス確保のため来場者抑制をした影響によりリフォーム売上減収

リフォーム商材売上				リフォーム加盟店の推移			
億円	20/3期 上期実績 ⁽¹⁾	21/3期 上期実績	前年 同期比	店	19年 3月	20年 3月	20年 9月
リフォーム商材売上	1,604	1,402	-13%	LIXILリフォームショップ (FC)	571	554	538
リフォーム比率	37%	36%	-0.4pt	LIXILリフォームネット (ボランティア)	11,783	11,789	11,564
				リクシルPATTOリフォーム サービスショップ	3,800	3,602	3,814

▶ セグメント別リフォーム商材売上比率

セグメント	20/3期 上期	21/3期 上期	差
LWT	45%	44%	-1.2pt
LHT	32% ⁽¹⁾	32%	+0.1pt
LBT	21% ⁽¹⁾	23%	+1.8pt
国内・計	37%	36%	-0.4pt

トステムの窓・玄関リフォーム商品を刷新⁽²⁾

ニューノーマルに対応した
リフォーム需要の増加に伴い、
かんたんリフォームのご提案
商品を強化。
1日*でリフォーム工事ができ、
簡単に設置可能

*施工現場の状況により施工時間
が異なる場合がございます。



写真：
左上「取替シャッター」、
右上「リシエント 玄関引戸 2」、
左下「リプラス」内観色ブラック

(1) 同一基準に基づく比較を可能とするため、前年同期のリフォーム売上高を遡及修正しています

(2) ニュースリリース <https://newsrelease.lixil.co.jp/news/pdf/20200929-1.pdf>

28

商品・サービス別売上状況

セグメント	主要商品名	(単位：億円)				(単位：%)						
		20/3期 通期実績 ⁽¹⁾	20/3期 上期実績 ⁽¹⁾	21/3期 上期実績 ⁽¹⁾	前年 同期比 (%)	前年同期比						
						20/3期				21/3期		
				1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q			
LWT	衛生機器**	1,060	524	504	-4.0%	1.4	10.9	0.2	-1.9	1.5	-8.5	
	バスルーム	1,005	513	412	-19.8%	-1.4	11.2	0.8	-5.8	-20.8	-18.8	
	洗面化粧台**	376	184	168	-8.8%	0.6	12.6	-4.4	-0.7	-8.5	-9.0	
	キッチン	1,114	565	466	-17.6%	0.2	11.3	-5.4	-8.6	-14.8	-20.0	
	タイル	363	178	158	-11.4%	-5.0	5.1	-8.2	-6.3	-5.3	-16.6	
LHT	住宅サッシ	1,900	971	854	-12.1%	5.5	10.2	-4.1	-2.7	-10.7	-13.3	
	エクステリア	1,101	562	495	-12.0%	5.5	13.4	-10.3	-9.0	-9.4	-14.6	
	インテリア建材	698	350	304	-13.2%	16.1	20.8	1.4	0.2	-8.1	-18.0	
	その他LHT	816	433	295	-31.9%	7.6	4.0	-19.3	-14.9	-30.0	-33.7	
LBT	ビルサッシ	1,128	544	463	-14.9%	0.4	0.3	2.2	-12.4	-10.8	-18.2	
H&S	住宅・サービス事業	540	268	229	-14.5%	6.0	-1.0	-6.9	-20.3	-13.9	-15.1	
	海外売上	3,986	1,970	1,786	-9.4%					-21.5	2.3	
	その他・連結調整等	1,057	532	474	-							
売上合計		15,144	7,595	6,605	-13.0%					-14.6	-11.6	

(ご参考) **「衛生機器」「洗面化粧台」に含まれる水栓金具の売上状況

LWT	水栓金具	189 ⁽²⁾	90	98	9.0%	1.4	13.2	3.7	6.9	13.5	4.9
-----	------	--------------------	----	----	------	-----	------	-----	-----	------	-----



(1) 2020/3期 第4四半期でベルマステリーザ社及びその子会社の事業の非継続事業への振り替えに伴い、通期前年度実績を遡及修正。
 2020/6/9公表 LIXILビバの売却決定により第1四半期よりD&R事業を非継続事業に振り替え。通期前年実績も遡及修正

29

主要海外子会社業績

会社名	ASB (ASD Holdings)				
通貨・単位	単位：百万米ドル				
決算期	20/3期 上期 実績	21/3期 上期 実績	前年同期比		
為替レート(期中平均レート)	109.00	106.68	-		
売上収益	609	598	-2%		
事業利益	36	33	-8%		
事業利益率	6%	5%	-0.4pt		
決算期	20/3期 期末残高	21/3期 上期 (6か月) 償却額		21/3期 上期 (6か月) その他 ⁽¹⁾	期末残高
為替レート (残高は期末レート、償却は期中平均レート)	108.83	106.68		-	105.80
のれん	231	-		-3	228
無形資産	214	-3		0	211
会社名	Grohe Group (グロエ) ⁽²⁾				
通貨・単位	単位：百万ユーロ				
決算期	20/3期 上期 実績	21/3期 上期 実績	前年同期比	(参考) LIXIL Africa影響 除く前年同期比 ⁽²⁾	
為替レート(期中平均レート)	121.43	121.36	-	-	
売上収益	758	677	-11%	-9%	
事業利益	85	65	-24%	-26%	
事業利益率	11%	10%	-1.6pt	-2.2pt	
決算期	20/3期 期末残高	21/3期 上期 (6か月) 償却額		21/3期 上期 (6か月) その他 ⁽¹⁾	期末残高
為替レート (残高は期末レート、償却は期中平均レート)	119.55	121.36		-	124.17
のれん	1,208	-		-12	1,195
無形資産	1,451	-11		0	1,440



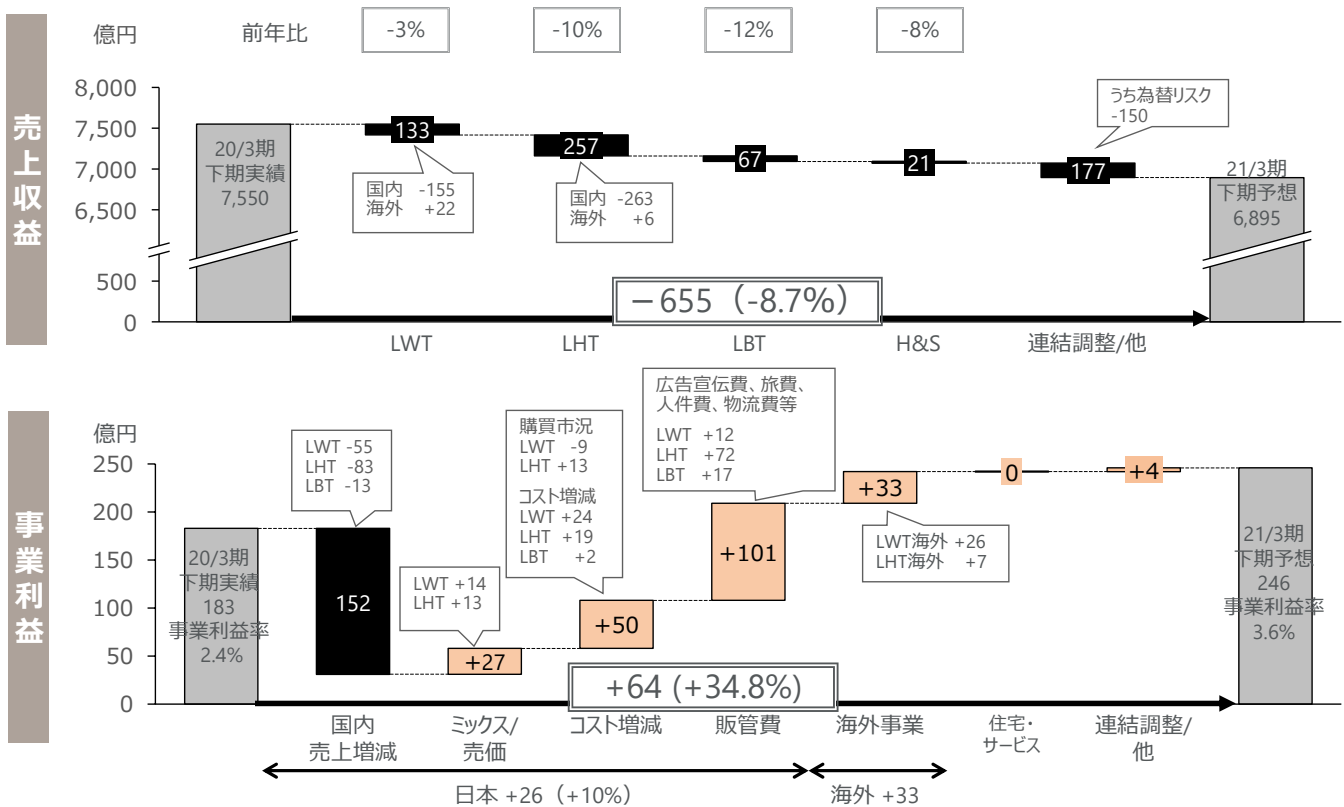
(1) 為替換算差額など
 (2) 2019/7よりLIXIL Africa (旧GDWT) はGrohe Group傘下から(株)LIXILの子会社となっています

30

主要海外子会社業績

会社名	Permasteelisa (ペルマスティリーザ) ⁽¹⁾		
通貨・単位	単位：百万ユーロ		
決算期	20/3期 上期 実績	21/3期 上期 実績	前年同期比
為替レート(期中平均レート)	121.43	121.36	-
売上収益	617	414	-33%
事業利益	-39	-62	-
事業利益率	-	-	-

2021年3月期 下期業績予想 売上収益・事業利益の増減 (前年差)



外部評価

S&P Japan 500 ESG

S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスの「S&P Japan 500 ESG」の構成銘柄に選定（2020年6月）

FTSE4Good Index Series

FTSE Russell社⁽¹⁾の「FTSE4Good Index Series」の構成銘柄と「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄に4年連続で選定（2020年6月）



FTSE4Good



FTSE Blossom Japan

MSCI日本株女性活躍指数

MSCI社の「MSCI日本株女性活躍指数(WIN)」の構成銘柄に4年連続で選定（2020年6月）

2020 CONSTITUENT MSCI日本株女性活躍指数 (WIN)

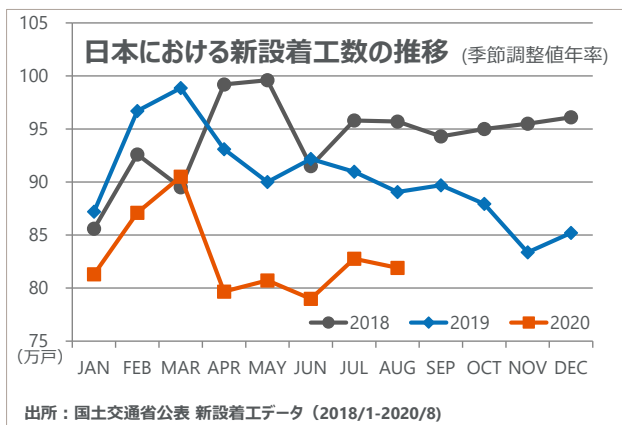
免責事項
株式会社LIXILグループのMSCI指数への組み入れ、及び本ページにおけるMSCIのロゴ、商標、サービスマークまたは指数名の使用は、MSCIまたはその関連会社による株式会社LIXILグループへの後援、保証、販促には該当しません。MSCI指数はMSCIの独占的財産です。MSCI指数の名前およびロゴはMSCIまたはその関係会社の商標またはサービスマークです。



(1) FTSE International Limited と Frank Russell Company の登録商標です

33

事業環境



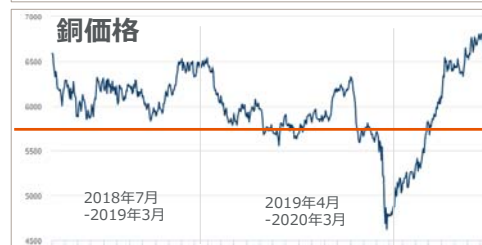
新築着工水準（対前年比）

- 2020/7-8：-10.3%
- 2020/4-6：-12.7%

	2020年1月-8月 (8ヵ月)		2020年4月-8月 (5ヵ月)	
	戸数	前年比	戸数	前年比
総数	538,028	-11.0%	343,853	-11.6%
持家(1)	168,909	-13.1%	108,988	-15.5%
貸家	204,783	-9.8%	131,453	-9.9%
分譲マンション	71,808	-8.9%	46,166	-1.8%
分譲戸建(2)	87,383	-10.6%	53,979	-14.3%
戸建合計(1)+(2)	256,292	-12.2%	162,967	-15.1%



21/3期 前提
1トンあたり20.9万円
(約1,817ドル/トン)
出所：LME 3ヵ月先物
(2018/7/1-2020/9/30)



21/3期 前提
1トンあたり64.8万円
(約5,635ドル/トン)
出所：LME 3ヵ月先物
(2018/7/1-2020/9/30)

為替 (期中平均レート)	19/3期 実績	20/3期 実績	21/3期 計画 前提
米ドル	110.69円	109.10円	115.0円
ユーロ	128.43円	121.14円	126.5円

原材料価格の 実績	19/3期 実績	20/3期 実績	21/3期 計画 前提
アルミ価格 (購入ベース)	24.9万円/トン	21.5万円/トン	20.9万円/トン
銅価格	63.2万円/トン	58.6万円/トン	64.8万円/トン



34



この資料には、(株)LIXILグループの将来についての計画と予測の記述が含まれています。
これらの計画と予測は、リスクや不確定要素を含んだものであり、実際の業績は様々な重要な
要素により当社の計画・予測と大きく異なる結果となる可能性があります。